



## 平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 学研ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9470 URL <http://www.gakken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務戦略室長 (氏名) 川又 敏男

TEL 03-6431-1015

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	21,051	7.0	△587	—	△524	—	△1,283	—
25年9月期第1四半期	19,681	5.6	68	△85.3	146	△70.9	△82	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △883百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 635百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△14.60	—
25年9月期第1四半期	△0.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年9月期第1四半期	69,521		32,266		45.3
25年9月期	66,582		33,587		49.4

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 31,520百万円 25年9月期 32,874百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	7.1	2,300	10.5	2,400	3.1	1,800	1.2	20.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の事業の特性から第2四半期連結累計期間の変動幅があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	105,958,085 株	25年9月期	105,958,085 株
26年9月期1Q	18,025,902 株	25年9月期	18,023,804 株
26年9月期1Q	87,933,494 株	25年9月期1Q	87,861,542 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業業績や雇用情勢に改善が見られました。一方、海外経済の不安要因は依然として存在し、消費税率引き上げが控えていることもあり、景気の先行きには引き続き不透明感が残る状況で推移しました。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間においては、出版事業やその他に分類しております家庭訪問販売事業の減収がありましたが、教室・塾事業で前期に地方進学塾を連結子会社化したことや高齢者福祉・子育て支援事業でのサービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」）の新規開業などにより、売上高は増加しました。損益面につきましては、出版事業の減収、園・学校事業における原価増などにより営業損失となりました。特別損益においては、家庭訪問販売事業の撤退を決定したことに伴い、事業整理損を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高21,051百万円（前年同期比7.0%増）、営業損失587百万円（前年同期比655百万円損失増）、経常損失524百万円（前年同期比670百万円損失増）、四半期純損失1,283百万円（前年同期比1,201百万円損失増）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①教室・塾事業

「学研教室」事業では、タブレットを活用した新たなサービスの展開により会員数、売上高の伸長を図っております。また、進学塾事業では、前期に株式会社イング、株式会社全教研を連結子会社化したことにより、売上高が増加しました。損益面においても上記2社による利益の積み上げとその他進学塾のコスト削減、「学研教室」の新サービス展開などにより増益となりました。

この結果、教室・塾事業における売上高は前年同期比29.1%増の6,704百万円、営業利益は前年同期比43百万円増の501百万円となりました。

#### ②出版事業

中学生向け学習参考書や問題集、児童向け読み物が販売部数を伸ばしましたが、前期に発行したムックの返品増と2013年10月号をもちまして休刊した定期誌「おはよう奥さん」の影響により売上高が減少しました。損益面では減収と在庫処分増により損失が増加しました。

この結果、出版事業における売上高は前年同期比6.1%減の6,470百万円、営業損益は前年同期比413百万円損失増の714百万円の損失となりました。

#### ③高齢者福祉・子育て支援事業

直近の1年間において「サ高住」を14施設、保育園を7園開業したことにより売上高が増加しました。一方、開業費用の増加などにより損失が増加しました。

この結果、高齢者福祉・子育て支援事業における売上高は前年同期比29.7%増の2,305百万円、営業損益は前年同期比58百万円損失増の247百万円の損失となりました。

#### ④園・学校事業

高校生向け模試の受注減により売上高が減少しました。損益面では模試事業の減収と園向け販売事業での原価増などにより、損失が増加しました。

この結果、園・学校事業における売上高は前年同期比0.7%減の3,134百万円、営業損益は前年同期比136百万円損失増の346百万円の損失となりました。

#### ⑤その他

事業整理を決定した家庭訪問販売事業と文具・雑貨事業で減収となりました。損益面では文具雑貨事業の減収により、利益が減少しました。

この結果、その他における売上高は前年同期比8.4%減の2,436百万円、営業利益は前年同期比132百万円減少の190百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,938百万円増加し、69,521百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加1,277百万円、商品及び製品の増加586百万円、投資有価証券の増加469百万円、有形固定資産の増加463百万円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,259百万円増加し、37,255百万円となりました。主な増減は、短期借入金の増加3,148百万円、事業整理損失引当金の増加534百万円、長期借入金の増加488百万円、賞与引当金の減少787百万円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,320百万円減少し、32,266百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少1,723百万円、その他有価証券評価差額金の増加373百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期はグループ2ヵ年計画「G a k k e n 2 0 1 5」の1年目にあたり、基幹事業において安定した利益の確保に努めるとともに成長事業や成長期待分野の収益化に取り組み、計画を着実に遂行してまいります。

「教室・塾事業」につきましては、「学研教室」におけるタブレット活用の新サービス展開をより一層推進するとともに、進学塾事業では生徒募集の強化により生徒数の伸長を図ってまいります。

「出版事業」につきましては、引き続き厳しい事業環境が予想されますが、継続的に定期誌の損益改善に取り組むとともに、ムック・書籍の新刊発行とベストセラー創出に向けての販売促進を強化し、収益確保に努めてまいります。

「高齢者福祉・子育て支援事業」につきましては、「サ高住」及び保育園の開業計画を確実に遂行し、収益基盤を確立してまいります。

以上により、当連結会計年度（平成26年9月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高93,000百万円、連結経常利益2,400百万円、連結当期純利益1,800百万円を見込んでおり、平成25年11月14日の平成25年9月期決算発表時に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,906	11,183
受取手形及び売掛金	16,561	16,393
有価証券	—	142
商品及び製品	10,033	10,619
仕掛品	1,506	1,820
原材料及び貯蔵品	64	74
その他	2,157	2,116
貸倒引当金	△76	△78
流動資産合計	40,153	42,272
固定資産		
有形固定資産	7,631	8,094
無形固定資産		
のれん	2,331	2,224
その他	998	991
無形固定資産合計	3,329	3,216
投資その他の資産		
投資有価証券	10,196	10,666
その他	5,550	5,549
貸倒引当金	△278	△277
投資その他の資産合計	15,468	15,938
固定資産合計	26,429	27,249
資産合計	66,582	69,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,338	8,713
短期借入金	2,440	5,588
1年内返済予定の長期借入金	895	890
未払法人税等	428	167
賞与引当金	1,223	436
返品調整引当金	1,011	972
ポイント引当金	2	2
その他	4,288	5,156
流動負債合計	18,628	21,926
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	3,071	3,560
退職給付引当金	6,750	6,668
事業整理損失引当金	—	534
その他	4,493	4,515
固定負債合計	14,366	15,328
負債合計	32,995	37,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,357	18,357
資本剰余金	11,932	11,932
利益剰余金	4,115	2,391
自己株式	△4,107	△4,108
株主資本合計	30,297	28,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,642	3,016
為替換算調整勘定	△65	△68
その他の包括利益累計額合計	2,577	2,947
新株予約権	152	176
少数株主持分	560	570
純資産合計	33,587	32,266
負債純資産合計	66,582	69,521



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	19,681	21,051
売上原価	12,545	14,335
売上総利益	7,136	6,715
返品調整引当金戻入額	100	38
差引売上総利益	7,236	6,754
販売費及び一般管理費	7,168	7,341
営業利益又は営業損失(△)	68	△587
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	69	89
負ののれん償却額	24	—
雑収入	37	35
営業外収益合計	134	126
営業外費用		
支払利息	23	18
租税公課	—	21
雑損失	32	24
営業外費用合計	55	63
経常利益又は経常損失(△)	146	△524
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	2	—
事業整理損	—	543
減損損失	0	2
その他	—	0
特別損失合計	3	546
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	143	△1,070
法人税、住民税及び事業税	140	141
法人税等調整額	62	42
法人税等合計	202	183
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59	△1,253
少数株主利益	23	30
四半期純損失(△)	△82	△1,283

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△59	△1,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	696	374
為替換算調整勘定	△2	△3
その他の包括利益合計	694	370
四半期包括利益	635	△883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	611	△913
少数株主に係る四半期包括利益	23	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	教室・塾 事業	出版事業	高齢者福 祉・子育て 支援事業	園・学校 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,193	6,891	1,777	3,157	17,020	2,661	19,681	—	19,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	162	0	78	262	546	809	△809	—
計	5,214	7,054	1,778	3,235	17,283	3,207	20,490	△809	19,681
セグメント利益又は 損失(△)	458	△301	△188	△210	△241	323	81	△12	68

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文具・雑貨事業、物流事業等を含んでおります。
- 2 「セグメント利益又は損失(△)」欄の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去2百万円、棚卸資産の調整額△16百万円などが含まれております。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	教室・塾 事業	出版事業	高齢者福 祉・子育て 支援事業	園・学校 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,704	6,470	2,305	3,134	18,614	2,436	21,051	—	21,051
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	213	1	81	362	692	1,055	△1,055	—
計	6,770	6,683	2,307	3,215	18,977	3,129	22,106	△1,055	21,051
セグメント利益又は 損失(△)	501	△714	△247	△346	△806	190	△615	28	△587

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文具・雑貨事業、物流事業等を含んでおります。
- 2 「セグメント利益又は損失(△)」欄の調整額28百万円には、セグメント間取引消去8百万円、棚卸資産の調整額18百万円などが含まれております。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。